

令和元年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人東京・おてだま

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- (2) 固定資産の減価償却の方法

- (3) 引当金の計上基準
 - ・ 退職給付引当金

 - ・ 引当金

- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

- (5) 消費税等の会計処理

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	お手玉遊びに関する調査研究事業	お手玉遊びの普及啓発事業	事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費		107,500			107,500		107,500
2. 受取寄附金							
3. 受取助成金等	104,600	145,400			250,000		250,000
4. 事業収益		3,089,735			3,089,735		3,089,735
5. その他収益							
経常収益計	104,600	3,342,635			3,447,235	0	3,447,235
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当							
退職給付費用							
福利厚生費							
.....							
人件費計	0	0			0	0	0
(2) その他経費							
売上原価		699,800			699,800		699,800
旅費交通費						1,060	1,060
物品製作費		486,197			486,197		486,197
減価償却費							
印刷製本費	104,600				104,600		104,600
その他経費	10,000	205,285			215,285	202,371	417,656
その他経費計	114,600	1,391,282			1,505,882	203,431	1,709,313
経常費用計	114,600	1,391,282			1,505,882	203,431	1,709,313
当期経常増減額	△10,000	1,951,353			1,941,353	203,431	1,737,922

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳
 使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
 当法人の正味財産は 円ですが、そのうち 円は、下記のように使途が特定されています。
 したがって使途が制約されていない正味財産は 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
該当なし					
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 車両運搬具 什器備品	該当なし					
無形固定資産						
投資その他の資産 敷金						
合計						

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	5,500,000	0	2,500,000	3,000,000
	5,500,000	0	2,500,000	3,000,000

7. 役員及びその近親者との取引の内容
 役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)	該当なし	該当なし
活動計算書計		
(貸借対照表) 長期借入金	3,000,000	3,000,000
貸借対照表計	3,000,000	3,000,000

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
- ・ 事業費と管理費の按分方法
 - ・ その他の事業に係る資産の状況